



雨にも負けず・・・

～はじめての雨の日登校～



4月13日(火)、一年生を気遣ってか、やさしい春の雨が降りました。傘をさしての登校は大丈夫かなど心配をしていましたが、みんな自分とランドセルを守りながら上手に登校していました。児童玄関では、宮里教頭先生が迎えてくれました。「傘は、くると巻いて止めて・・・、ここに入れるんだよ。」と傘の置き方をやさしく教えてもらいました。



ついこの間まで、おうちの人と登園していた一年生が、自分で学校まで登校できるってすごいことだと思います。おうちの方は、帰って顔を見るまで心配をされていると思います。安心して下さい。一年生は、毎日、少しずつ少しずつ小学生になっています。

～一年生の朝は「にこにこタイム」から～

登校時刻や荷物、歩く距離・・・。保育園や幼稚園、おうちでの生活から、小学校の生活に慣れるのには、かなりのエネルギーが必要であると思われます。少しでも一年生の心と体の負担を軽くするため、今年度から本格的にスタートカリキュラムを実施しています。保育園や幼稚園と小学校のつながりをスムーズに行うための学びの場です。坂小学校では、「にこにこタイム」と呼んでいます。一年生が一日ににこにこして過ごしてほしいという願いが込められています。

朝、登校すると、手洗い、トイレ、そしてランドセルを片付けます。6年生のお兄さん、お姉さんが手伝ってくれたり、遊んだりしてくれます。教室でのお絵描きやぬり絵、別の教室「にこにこルーム」で、積み木や工作、折り紙など、自分がしたいことを選んで遊びます。「作り方教えて。」「いっしょにやろう。」と、友だちと一緒に遊ぶ子、集中して創作している子と様々ですが、音楽♪が流れると、みんな一斉に片付け始めるのです。その切り替えの早さに感心しました。

好きな遊びをして一日をスタートする「にこにこタイム」は、登校時の緊張や学校生活へのドキドキを和らげる大切な時間なんだなと思いました。何より、みんな、にこにこです😊😊😊。



「どうやって作るん?」「教えてあげる。」



「くっつけたらおもしろいよ。」「やってみよ。」

令和3年4月14日

坂町立坂小学校長 根石 郁子